

# 笛吹市 議会だより

令和元年10月24日発行

## 2019 Vol.60

石和北小学校



石和南小



提出案件一覧表 ③

質疑及び一般質問 ⑮

平成30年度決算状況 ④

議会タブレット検討委員会視察研修 ⑲

決算に対する監査意見 ⑥

委員会レポート ⑳

5会派が代表質問 ⑦

第4回定例会の日程/編集後記 ㉔

## 9月議会・会期日程

9月2日（月）

・議会運営委員会、全員協議会

9月9日（月）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

・決算審査報告

9月18日（水）

●本会議 議案に対する質疑及び

代表質問

9月19日（木）

●本会議 議案に対する質疑及び

一般質問・付託・委員会審査報

告・討論・採決

10月8日（火）

・議会運営委員会、全員協議会

●本会議（委員会審査報告・追加

提出議案の説明・質疑・討論・

採決）

■閉会

## 議会日誌 GIKAI diary

### 6月 June

- 3日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会会計監査
- 7日 議会運営委員会、全員協議会
- 8日 稲山ほたる銀河の会「ほたる祭り」
- 10日 全国温泉所在都市議会議長協議会
- 11日 全国市議会議長会定期総会、会派別意見交換会
- 12日 質疑・質問通告期限、通告確認及び許可
- 13日 シルバー人材センター定期総会
- 14日 第2回定例会本会議（開会）、議会改革委員会
- 21日 農産物等消費拡大宣伝事業（東京大田市場他）  
山梨県防犯協会笛吹支部定期総会
- 24日 第2回定例会本会議（質疑及び一般質問）  
笛吹市体育協会総会
- 26日 常任委員会、教育厚生常任委員会福祉施設視察
- 27日 常任委員会

### 7月 July

- 1日 第69回笛吹市「社会を明るくする運動」推進大会  
令和元年度市町村長・市町村議会議長会議
- 1~2日 果実等消費拡大宣言事業（大阪本場市場他）
- 2日 東山梨行政事務組合議会臨時会
- 3日 議会運営委員会、全員協議会、定例会本会議（最終日）  
議会広報編集委員会



- 7日 第59回御坂会定期総会
- 8日 議会広報編集委員会
- 11日 山梨県後期高齢者医療広域連合臨時会・全協・本会議
- 17日 桃の被害状況現地調査  
わが町の八月十五日展オープニングセレモニー
- 20日 笛吹市学年別剣道選手権大会、スポーツ少年団剣道大会  
笛吹川石和鵜飼開き
- 23日 入札会運営状況に関する視察研修、定例全員協議会
- 25日 渋川改修促進期成同盟会総会
- 26日 第52回甲府笛吹富士河口湖富士吉田線促進期成同盟会総会
- 29日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会総会
- 30日 「笛吹市秋祭り」ポスター企画デザイン審査会

### 8月 August

- 4日 石和温泉柔道大会・笛吹市スポーツ少年団大会
- 7日 議長・局長会議、議員合同研修会（前期）
- 7~10日 海外トップセールス（シンガポール）
- 16日 甲斐いちのみや大文字焼き
- 19日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会
- 21日 富士川町タブレット視察研修
- 23日 石和温泉シニア、ハイシニア、スーパーシニアソフトボール大会
- 27日 シルバー人材センター要望書提出





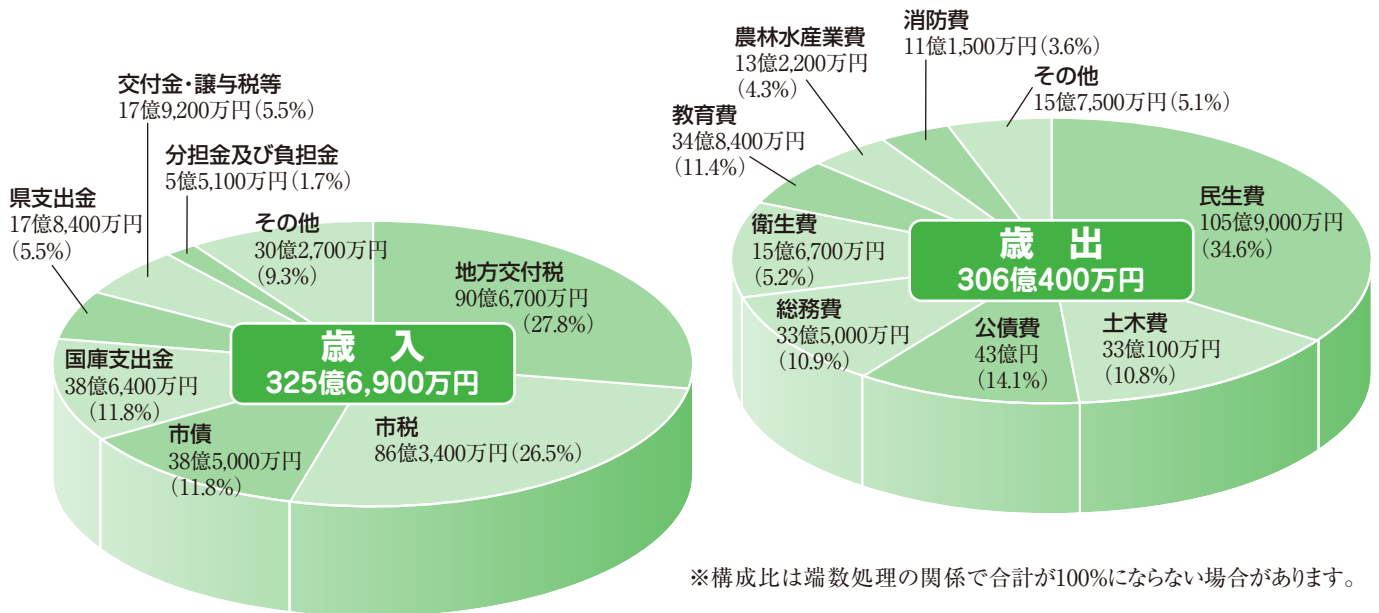
# 令和元年9月定例議会提出案件一覧表

(中村正彦議長を除く)  
○賛成 ●反対 一棄権

種別	案件名	笛新会							誠和会		公明党		笛政クラブ		日本共産党		無党派	結果		
		海野利比古	保坂利定	北嶋恒男	荻野謙一	岩沢正敏	神宮司正人	神澤敏美	武川則幸	小林始	中村正彦	河阪昌則	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	前島敏彦	古屋始芳		渡辺正秀	河野智子
報告	・平成30年度財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告 ・平成30年度水道事業会計予算の弾力条項の適用 ・令和元年度公共下水道事業会計予算の弾力条項の適用																			
条例制定改正	・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○									●	●	○
	・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○
	・印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○
	・市立保育所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○									●	●	○
	・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正																			
	・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○
令和元年度補正予算	・市営春日居地区温泉給湯条例の一部改正																			
	・下水道条例の一部改正																			
	・一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○
	・国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○									●	●	○
	・介護保険特別会計補正予算(第2号)																			
	・介護サービス特別会計補正予算(第1号)																			
	・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																			
	・農業集落排水特別会計補正予算(第1号)																			
	・簡易水道特別会計補正予算(第1号)																			
	・境川観光交流センター特別会計補正予算(第1号)																			
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
	・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
	・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																			
・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																				
・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)																				
・水道事業会計補正予算(第2号)																				
・公共下水道事業会計補正予算(第2号)																				
平成30年度決算認定	・一般会計歳入歳出決算認定																			
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	●	●	○
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定																			
	・介護サービス特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定																			
	・農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・簡易水道特別会計歳入歳出決算認定																			
	・境川観光交流センター特別会計歳入歳出決算認定																			
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																			
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																			
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																			
・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																				
・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																				
・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																				
・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																				
・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																				
・水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・公共下水道事業会計決算認定																				
・市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	・財産(建物)の無償譲渡(笛吹市立御坂北保育所)																	●	●	○
	・動産の取得(水槽付ポンプ車購入(石和分団第2部))																			
	・動産の取得(中学校パソコン教室用端末購入)	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・動産の取得(ネットワーク分離用機器購入)																			
人事	・市道廃止																			
	・固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 用語解説

- ※1 専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。
- ※2 請願とは…住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(議員の紹介が必要)
- ※3 意見書とは…議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。



### 歳入

- 地方交付税**  
国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
- 市税**  
市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 市債**  
道路や施設などを整備するための市の借金
- 交付金・譲与税など**  
国や県が集めた税金を市に交付・譲与するもの
- 分担金及び負担金**  
事業加入者分担金や施設入所者の負担金など
- 国県支出金**  
国や県から交付される補助金など
- その他**  
繰越金、繰入金、財産収入、寄付金など

### 歳出

- 民生費**  
老人福祉、児童福祉、障害者福祉など
- 衛生費**  
健康予防・子育て支援など、環境衛生など、疾病予防、水道などの経費
- 教育費**  
小中学校や教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など
- 農林水産業費**  
農業・林業等の振興及び整備
- 消防費**  
消防、災害復旧、諸支出金
- その他**
  - 諸支出金: 基金への積み立て
  - 商工費: 商工業の振興・観光振興
  - 議会費: 議会運営費など
- 土木費**  
道路の新設整備や改修、河川の整備、市営住宅の管理など、公園整備や管理
- 公債費**  
市債を返すための費用
- 総務費**  
交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など、戸籍事務、選挙などの経費

## 特別会計・事業会計決算状況

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計		93億3,334万円	86億6,599万円
介護保険特別会計		69億3,384万円	65億8,432万円
介護サービス特別会計		1,482万円	1,091万円
後期高齢者医療特別会計		14億9,363万円	14億3,718万円
農業集落排水特別会計		5,568万円	4,455万円
簡易水道特別会計		1,540万円	1,157万円
境川観光交流センター特別会計		8,862万円	5,465万円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)		5,983万円	394万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	16億8,117万円	20億6,277万円
	資本的収入及び支出	4億6,647万円	9億1,120万円
春日居地区温泉給湯事業会計	収益的収入及び支出	6,445万円	6,124万円
	資本的収入及び支出	0万円	9,969万円
公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	19億8,531万円	19億2,708万円
	資本的収入及び支出	9億9,505万円	17億4,539万円

※収益的及び資本的収入が支出に不足する額は補てん財源で措置

# 平成30年度一般会計決算

**歳入総額** 325億6,900万円

**歳出総額** 306億400万円

## 平成30年度決算 おもな使いみち

砂原橋及び周辺道路整備事業

2億5,520万円



学校給食センター建設事業

13億209万円



御坂学童保育クラブ事業 439万円



笛吹みんなの広場活用事業 1,398万円



新道峠展望台整備事業  
(富士山テラス整備事業) 496万円



子育て世代定住支援事業 3,505万円





# 平成30年度決算に対する監査意見

代表監査委員 横山祥子

7月4日から7月30日まで、監査委員3人で平成30年度の一般会計・特別会計決算および水道事業会計、春日居地区温泉給湯事業会計、公共下水道事業会計等について、審査に付された決算書および提出された審査資料に基づき、審査を執行した結果、それぞれ関係法令に準拠して作成されており、決算計数はいずれも関係帳簿、証ひょう書類と符合し、かつ正確であると認められた。また、決算の内容、予算執行についても適正妥当であると認められた。

## (一般会計)

平成30年度の決算状況は、市税の増加、交付税の減少という中で、地方債の返済や扶助費、補助費、人件費、物件費など法令や性質上から、任意に削ることが困難な経常的費用が高い比率を占めている。今後も厳しい財政状況が続くと予想されるなか、限られた財源をいかにして有効に活用するかが重要である。

次の諸点に留意して取り組むことを要望する。

- 1、補助金、交付金の適正化

- 2、災害等に対する危機管理体制の強化
- 3、指定管理者制度の検証

次の項目に留意し継続的な改善と財政運営に取り組まれない。

- 1、市税および料金等の収納率の向上
- 2、随意契約、変更契約、委託業務契約
- 3、危機管理体制の確立
- 4、事務処理の適正化

## (国民健康保険特別会計)

滞納世帯に対し明確な基準を設け、厳正な対応と収入未済額の縮減に向け、徴収の強化をお願いする。

## (介護保険特別会計)

円滑な保険事業運営のため、収納率向上と不納欠損額の縮減を望む。

## (介護サービス特別会計)

要支援の方が要介護状態にならず、自立した生活を続けられるよう、事業成果の検証が大切である。介護保険料の上昇を防ぐため、積極的な取り組みを望む。

## (後期高齢者医療特別会計)

保険料滞納額は前年度よりも僅か増加している。制度を支える重要な財源、滞納縮減に向けた努力を望む。

## (農業集落排水特別会計)

排水処理施設等の維持管理、起債の償還が主な歳出。未収金は公平性の面からも収納対策をお願いする。

## (簡易水道特別会計)

積極的な老朽管の布設替えと、有収率の向上を望む。給水単価に対する供給単価の適正化と、健全経営を遂行されたい。

## (財産に関する調書)

基金運用の安全性を確保するため、金融機関の経営状況等の信用格付情報を入手し慎重な運用に心掛け、適正な管理が行われている。

## (水道事業会計)

平成30年度の料金改定に伴い、給水利益が増加したが、依然として厳しい経営状況にある。公営企業として健全な事業経営を遂行されるよう望む。

## (春日居地区温泉給湯事業会計)

未収金は前年度より減少している。今後も規定に基づいた督促状の発送、戸別徴収の強化など積極的に行い、滞納縮減のための取り組みをお願いする。本市の温泉給湯事業は、収益増が見込めない中で、施設の維持管理に向けた事業費用の増加も予想される。公営企業として将来を見据えた事業経営の遂行を望む。

## (公共下水道事業会計)

企業債残高が146億円余りあり、決算額の大きな割合を占めている。また、汚水処理原価に対する使用料単価が不足しているため、一般会計からの多額の基準外繰入金に依存しているのが現状である。

厳しい経営状況だが、実質的な収益の向上と安定した経営に向け、経営努力する必要がある。業務改善・合理化等による経費の削減に努め、公営企業として、健全な事業経営を遂行できるよう望む。

# 質疑および代表質問

9月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問を行いました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 笛新会 荻野 謙一議員 …7
- 誠和会 小林 始議員 …10
- 公明党 川村 恵子議員 …11
- 笛政クラブ 古屋 始芳議員 …13
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …14



## 笛新会

荻野 謙一 議員

### 問 平成30年度決算は

荻野謙一議員 ①財政健全化指標の評価と分析は。

②評価分析の結果に対する今後の取り組みは。

③自主財源確保の施策と取り組みは。

④合併特例債の起債状況と有意義な活用は。

### 答 財政は健全性を維持

#### 山下政樹市長

①企業会計の公債費充当財源が減少したことなどにより、実質公債費比率は0・9ポイント改善し12・0%に、将来負担比率は19・8ポイント改善し47・4%となった。いずれの指標も、早期健全化基準を大幅に下回っており、健全性を保っている。

荻野議員

①重点事業の達

### 問 第二次総合計画は

る市債の発行抑制を図るなど、身の丈に合った財政運営に努める。

③主幹産業である農業や観光業の成長を促進し、企業誘致も積極的に推進して、市税の増収を図りたい。市税や各種料金の徴収を強化し、ふるさと納税も推進していく。未利用普通財産の売却も行う。

④合併特例債の令和元年までの借入予定は364億6、300万円。発行可能残高は22億6、500万円。平成30年度、28事業に総額23億8、360万円を活用した。

成状況と課題は。

②人口減少、少子高齢化に対する取り組みは。

③子育てしやすいまちづくりの重要課題は。

### 答 子育て支援等に努める

#### 山下市長

①基本構想の中間年、令和3年度の数値目標として、実施計画では、76の指標を設定している。平成30年度、数値目標達成が13事業、数値目標の25%以上進捗が25事業。「土地利用の推進」「市民が起点、協働のまちづくり」「将来を見据えた行財政」などは、進捗状況が低い。取り組みを進めたい。

②「子育てしやすいまちづくり」では15事業、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」では32事業、「活力ある地域経済づくり」では6事業、「移り暮らせる魅力あるまちづくり」では5事業を展開している。

③仕事と子育ての両立支援、保育所・児童館の充実が重要課題と考えている。

### 問 せん孔細菌病 防除対策は

荻野議員 ①薬剤の購入方法は。

②購入手続きの簡素化は。

③薬剤散布補助金の予算計上は。

④施設栽培の導入促進は。

⑤今後の風評被害対策は。

⑥農業後継者グループの協議会立ち上げは。

### 答 徹底した防除が必要

#### 山下市長

①②JAや小売店など、薬剤を取り扱うすべての業者から購入できる。県の補助金交付要綱に基づき進めるため、申請方法は決まりしだい報告する。

③徹底した防除対策の実施には、しっかりとした予算措置をする必要があると考えている。

④経営改善に意欲ある農家には、国・県の制度を積極的に案内し、導入促進を行う。

⑤地域ぐるみ、全市一斉防除の取り組みを情報発信することが、信頼構築につながる。





がるものと考ええる。

⑥市内の若手農業者グループの意向を聞き、協議会の立ち上げ等を検討したい。

**問** タブレット端末によるペーパーレス化は

**荻野議員** 市役所のコピー用紙の年間の使用量は。タブレット端末を導入する考えは。

**答** 用紙減量化に努め導入も検討

**山下市長** 市役所が使うコピー用紙は、年間約936万枚、経費は約634万円。機密書類の溶解処理代は約65万円。事務効率化及び環境保全の観点から、取り組むべき課題と考えている。導入についても検討する。

**問** ドローンの活用は

**荻野議員** 先進自治体では、災害訓練、災害時の撮影、物資の輸送、鳥獣害対策、公共施設の調査等にドローンを活用している。導入する考えは。



東京都あきる野市でのドローンの活用について会派行政視察研修

**答** 先進事例を参考に導入を検討

**山下市長** 実証実験や導入が進められている、先進自治体での事例を参考に検討していく。

**問** 訪れたいくなる観光地を目指すには

**荻野議員** 旅行者数と宿泊者数の推移は。笛吹市が訪れたいくなる観光地を目指す上での課題と目標は。

**答** 安全で快適な環境を整える

**山下市長** 観光客数は、

## 代表質問

2013年が223万人、2018年が217万人で、ほぼ横ばい。宿泊者数は、2013年が111万人、2018年が150万人で増加の傾向。外国人宿泊者数は、2013年が3万9千人、2018年が25万4千人と大幅増。

無料Wi-Fiの整備や多言語化、キャッシュレスへの対応など、市全体で外国人観光客の受け入れ環境の整備に取り組む。

**問** 石和温泉駅舎の効果と維持管理は

**荻野議員** 駅舎リニューアル後の乗降客数は。観光案内所の利用状況は。北口有料駐車場の利用状況と料金定額制の導入は。駅舎の年間維持費は。

**答** 安全で快適な環境を整える

**山下市長** 乗降客数は平成27年度1日当たり5、692人、30年度5、956人と増加傾向にある。案内所来客者は3万人から6万4千人に増加した。特

にワインサーバーは人気があり、30年度は1万6千人が利用した。駐車場は28年度の料金収入が127万円、30年度が169万円。民間駐車場への影響を考慮、定額にする考えは現在ない。駅舎の維持管理費は3年間の平均で約1、030万円。

**問** 小口資金融資制度の貸付利子補助は

**荻野議員** 小規模企業者小口資金融資の利用状況と今後の対応は。

**答** 要件見直しで申し込みが増加

**山下市長** 市内金融機関に協力いただきながら、貸付要件の見直しなどにより、昨年度3件の申し込みが、今年度は8月末時点で34件に増えた。金融機関と連携し、さらなる利用促進を図りたい。

**問** みんなの広場整備事業は

**荻野議員** ①入札不調の原因は。②完成後の活用策は。イベ

ントや市民の利用は。

③観光との結びつけは。

④防災訓練、災害時の対応方法は。

⑤運営方法は。

⑥維持管理費は。

**答** 市民の憩いの場、イベント会場として活用

**山下市長** ①オリンピックに伴う建築需要の増大による価格高騰を反映した入札業者の見積もりが、市の設計単価を大きく上回ったため。

②「四季を通して自然を感じられる場」として整備する。多様なイベント利用を期待している。

③石和温泉駅に近い立地を生かし、大いに活用していただきたい。

④災害時に救援活動のため派遣される自衛隊の活動拠点としての機能もある。市の総合防災訓練時に、自衛隊との訓練も研究する。

⑤竣工から当面の間は、市が直営で管理し、業務と費用を確認した上で、指定管理に移行させる予定。

⑥既存施設を参考にすると





約1千万円と見込まれる。

### 新道峠

#### 問 展望台整備は

荻野議員 完成後の管理運営は。車両の乗り入れ、シヤトルバス運行と経費は。

#### 答 シャトルバスを運行

山下市長 完成後数年は市が管理し、効果的な運営方法を検討する。

シヤトルバスの運行経費は、600万から800万円を見込んでいる。

#### 問 リニアの見える丘公園は

荻野議員 観光名所として期待され、巨額の費用をかけて建設された。利用状況と維持管理費は。

#### 答 JRPポスターに使用された

山下市長 桃源郷の絶景とリニアが見えるスポットとして好評。維持管理費は、年間約370万円。

### 個性ある

#### 問 学校教育は

荻野議員 笛吹市には19の小中学校があるが、学校ごとの個性ある校風と授業を期待している。

#### 答 3月、市の学校ビジョンを改定

山下市長 学校のカリキュラムは、各校とも、地域の特色や学校の実態、子ども達の発達段階や特性を考慮し、創意工夫を凝らした教育活動が実現できるように編成している。

#### 問 石和学校給食センターは

荻野議員 二学期から給食センターが稼働した。配送時間や衛生面の問題はないか。費用の削減効果は。

#### 答 安心・安全に運営

山下市長 定められた時間での配送、二重保温食缶の使用、アレルギー対応など、安心・安全な運営を行っている。コストは今後検証する。

### 学校給食費の完全無料化は

#### 問 完全無料化は

荻野議員 完全無料化を実施した場合、市の負担額は。

#### 答 学校給食法に基づき保護者負担を求める

山下市長 年間3億円程度の財政措置が必要。現時点では実施する考えはない。

#### 問 小中学校のいじめ対策は

荻野議員 市内のいじめの現状と、対策、教職員への指導は。

#### 答 積極的ないじめ認知が大切

山下市長 いじめ防止対策推進法に定める重大事態は、現時点ではない。教職員には、見えない所で被害が発生しているケースもあることから、組織的な対応、積極的にいじめを認知することを指導している。

#### 問 子どもの虐待対策は

荻野議員 本市の子ども虐

待の現状は。市の相談窓口の対応は。

#### 答 適切に対応できる体制を構築する

山下市長 29年度は100件、30年度は114件。福祉事務所に家庭児童相談室を設置。相談員4人を中心に対応している。子育て支援課に、要保護児童対策地域協議会を設け、関係機関が連携している。

#### 問 空き家問題の解決は

荻野議員 市内には800軒以上の空き家がある。その対策は。

#### 答 「特定空き家」認定に取り組む

山下市長 30年度までの実態調査によると、賃貸アパートを除く対策が必要な空き家は306戸。今年度は、緊急性の高いものから調査し、「特定空き家」の認定に向け取り組む。

#### 問 高齢者の踏み間違い事故予防装置の購入補助は

荻野議員 ①市民の安心、安全な暮らしを守る施策は。②高齢者免許証返納者への対応は。

#### 答 今後の研究課題

山下市長 ①9月から毎週火曜日の午後、笛吹警察署と市の専門交通指導員が高齢者を戸別訪問し、事故防止と免許返納促進の啓発を行っている。

②タクシー回数乗車券1万5千円分を交付している。

#### 問 富士見地区へのふれあい公園建設は

荻野議員 富士見地区にはグラウンドゴルフやゲートボールを楽しむことができる場所がない。公園建設の考えは。

#### 答 有効活用していただく

山下市長 平成23年策定「笛吹市緑の基本計画」の公園整備目標は、市民1人当たり10㎡。現状は、10・3㎡。このため、あらたな都市公園の計画はない。

## 代表質問



誠和会

小林 始 議員

問 平成30年度決算状況は

小林始議員 ①決算の特徴と例年との違いは。

- ②25の重点事業の中で、特に成果が上がったものは。
- ③187の主要事業で目標以上に成果が上がったものは。目標に達しなかった事業と未着手事業の理由は。
- ④繰越事業と原因は。
- ⑤今後の財政運営の問題点は。

答 公共施設整備基金に6億8千万円積立

山下市長 ①歳入では、普通交付税の一本算定化により地方交付税が3億2、257万円減少する中、市税は市民税の増加および収納率向上により3、831万円増加し、86億3、431万円となった。

歳出では、石和学校給食センターと市営四日市場団地建設、台風被害による学校施設等の復旧費用により投資的経費総額は5億8、367万円増加し、44億8、511万円となった。

- ②③第二次総合計画では、事業ごとの評価は実施せず、実施計画において35の施策の取り組みの方向性ごとに、子育て世代定住支援事業の申請件数や水道の耐震化率など76の指標に対し、基本構想の中間、令和3年度時点の数値目標を設定し、年度ごとに現状値を評価している。未着手事業はない。
- ④道路維持管理事業2億4、184万円、県営畑地帯総合整備事業1億6、490万円、農業施設整備

事業1億9、446万円など28事業、繰越総額12億6、429万円。

繰越の原因は、国の補正による予算計上の前倒し、用地交渉の遅延、台風災害の影響など。

⑤財政構造の弾力性を示す經常収支比率が、前年度比0・4ポイント増の89・3%となった。今後、さらに普通交付税が減少するため、財政硬直化が懸念される。当分は身の丈に合った財政運営を徹底する。

問 笛吹みんなの広場整備は

小林議員 ①目的と事業の概要は。

- ②総事業費と財源の内訳は。
- ③屋根施設の利用目的と使用形態は。
- ④計画するイベントと使用料収入、維持管理費は。
- ⑤大規模イベント開催時の駐車場対策は。

答 野外交流の拠点

山下市長 ①定期的にイベントを開催し、集客や多様

な交流を生み出せる場として整備する。2万761㎡の敷地に、全体をつなぐ芝生広場を配置、膜構造の屋根施設、親水施設、東屋等を設ける。

②総事業費13億4、500万円。財源は合併特例債12億6、600万円、基金繰入金7、100万円、一般財源700万円。

③多数の集客を見込んだ空間づくりが目的。火気を使用した調理や飲食ができ、仕切りを設けて複数イベントの同時開催も可能。

④観光事業者、市民団体、学校、保育所など多様な主体による、さまざまなイベントを想定している。使用料は設置条例の中で検討する。維持費は既存施設を参考にする、年間1千万円が見込まれる。

⑤大型バス10台分は駐車可能。近隣施設の足湯広場、八田書院、職員駐車場や民間駐車場を活用する。

問 新道峠の展望台整備は

小林議員 ①完成後の運営

形態は。  
②展望テラスの利用者見込数と市のメリットは。  
③県外の利用者見込みと石和温泉への宿泊は。

答 眺望は評判が高い

山下市長 ①完成後数年間は市が管理し、効果的な運営方法を検討したい。

②メディアやSNS等で注目されている。多くの来訪者が期待できる。芦川地区の活性化と石和温泉の宿泊者の開拓につながるものと期待している。

③宿泊者限定の「朝日に輝く(照らされた)富士山」「夕映えの富士山」などの特別な眺望と宿泊をセットにした企画を検討する。

問 公共施設等総合管理計画は

小林議員 ①管理計画が先行実施された施設は。

- ②個別施設計画策定の進捗状況は。
- ③御坂農村環境改善センターの存続は。







**短期と中長期の方向性を定める**

**山下市長** ①境川支所移転、旧春日居庁舎解体、笛吹消防署の出張所統廃合、石和給食センターへの集約化、保育所民営化、公民館の地域への移管等を実施。

②ハード、ソフト両面での評価結果を基に、10年後の短期と30年後の中長期における「存続」「廃止」の方針や「現状維持」「集約化」「複合化」「転用」などの方向性を定める。

③市全体の公共施設の在り方を踏まえ検討する。平成30年3月提出の要望書は重く受け止めている。

**問** 電害、せん孔細菌病対策は

**小林議員** ①度重なる降電での減収、被害額は。

②電害の薬剤補助支給総額は。

③モモせん孔細菌病の減収見込みは。

④せん孔細菌病への市の対応と補助総額は。

**答** 薬剤費の3分の2を補助

**山下市長** ①③モモ、スモは前年度の40%減。電害によるブドウの減収はおおよそ20%減の見込み。被害額は調査中。

②6月補正で666万円、9月補正で4、280万円を計上。10月初旬に農家からの申請額が確定する。

④本年度、秋3回、春1回の一斉防除を行う。チラシの全戸配布、地区ごとに講習会、一斉防除などの取り組みが始まっている。補助金額は、防除薬剤費見込みの3分の2相当額の1億8、288万円を計上している。

**問** 通学路の安全対策は

**小林議員** ①通学路の安全対策と緊急点検の実施は。

②金川原下から御坂西小学校までの通学路整備は。

③通学路沿いの危険なブロック塀対策は。

**答** 必要な対策を講じる

**山下市長** ①本年度、各校から指摘された127カ所のうち、危険度の高い53カ所について協議。合同点検し必要な対策を講じる。緊急点検は行っていない。

②溝蓋の修繕、グリーンベルトの塗り直しを実施。歩道整備は県に要望している。

③補助制度を設け、200万円を9月補正に計上した。

**問** 信玄公生誕500年記念事業は

**小林議員** ①記念事業の内容容は。

②笛吹市の関わりと事業費、補助金は。

**答** 地域活性化につなげたい

**山下市長** ①信玄公の魅力の再認識と地域の活性化が目的。

②商工会が中心となった実行委員会は国の補助を活用し事業を行う。状況を見て市の協力方法を検討。

**問** 洪水・土砂災害ハザードマップの活用は

**小林議員** ①これまでの違いと今回改定された点は。

②市民への周知と活用は。

**答** 啓発用の動画を制作中

**山下市長** ①前回の改定は土砂災害警戒区域等を新たに示し、今回の改訂は、50年から100年に一度の降雨量を前提としていた浸水区域を、想定し得る最大規模の洪水、浸水へと拡充した。

②ハザードマップの全戸配布、広報紙等での周知。また、現在、啓発用の動画制作を進めている。



**公明党**

川村 恵子 議員

**問** SDGs(持続可能な開発目標)は

**川村恵子議員** 国連の「持続可能な開発目標」であるSDGsが、2016年1月にスタートした。

①本市はSDGsの実現に

どう取り組むか。

②総合計画や各種計画への反映は。

③市民への周知と普及は。

**代表質問**



**答** 理念に共感

**山下乡長** ①SDGsに掲げる、貧困、保健、教育、エネルギー、雇用、インフラ、都市、平和等、17の国際目標は、地方自治体としても身近な問題として積極的に取り組むべき事項と考えている。

第二次総合計画に掲げる市の将来像「ハートフルタウン笛吹」優しさあふれるまち」は、SDGsの実施方針と共通するものがある。

②本市の現状を踏まえ、適切にSDGsの要素を反映させていきたい。

③国の取り組みや、身近な取り組み事例などを市のホームページや広報紙に掲載し、市民の理解を深めていく。

**問** 受動喫煙防止対策は

**川村議員** ①喫煙所の今後は。

②社会体育施設、社会教育施設や公園などの扱いは。

③各種イベント時の対応方針は。

④喫煙率の現状と今後の取り組みは。

⑤妊婦の喫煙率0%を目指す取り組みは。

**答** 積極的に取り組む

**山下乡長** ①市役所庁舎は、7月1日から受動喫煙防止措置が取られた「特定屋外喫煙場所」を除いて、喫煙禁止となった。

②施設屋内は禁煙を実施している。公園についても改正健康増進法の趣旨を踏ま

え、建物施設は屋内禁煙と

している。

③屋内は施設のルールに従った対応となるが、屋外イベントは受動喫煙に配慮したマナーを求めている。

④平成30年度の25歳～59歳男性の喫煙率は、36・8%。当初目標の38・3%を達成したため、31年2月に目標値を35・8%に見直した。

今年度から歯科医師会の協力で、受診者に禁煙パンフレットを配布している。

⑤妊娠届出時やマタニティースクール、乳幼児健診で本人と同居家族の喫煙状況を聞き取り、低体重児の出産や早産への影響について説明している。

**問** 公共交通の充実と市民の移動支援は

**川村議員** ①公共交通の現状と今後の見通しは。

②高齢者外出支援助成事業の現状は。

③運転免許証自主返納支援事業は。

④アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故防止装置などの設置補助は。

⑤富士河口湖町が行っているシニアドライバー支援事業の導入は。

**答** ニーズ調査に基づき支援の仕組みを構築

**山下乡長** ①市営バス路線の利用者は、一宮循環バス

および芦川バスが減少傾向、境川巡回バスは増加傾向にある。デマンドタクシーは横ばい。甲府市と共同で運行する自主運営バス奈良原線は増加傾向。市が補助する民営バスは、山梨交通および栄和交通は増加傾向、富士急バスは横ばいで推移している。包括連携協定を結んでいる山梨大学と協力して昨年度実施した調査結果を分析し、今後の方針を立てる。

②平成28年度から、75歳以上の独居高齢者等で、市民税非課税者を対象に、初乗り分730円のタクシー代を月2枚、年間24枚までの交付を行っている。利用者は28年度172人から年々増加し、30年度は314人。

③高齢者の免許証返納者を対象に、タクシー回数券

15、000円分を、1人に1回を限度に交付している。自主返納数は、昨年度169件、本年度は8月まで106件。

④今後、情報収集し研究したい。

⑤富士河口湖町は、大学や企業と連携し、研修、検査、測定、体操などを実施している。本市では実施が難しいことから、認知機能や運動機能の維持、向上を目指した教室の開催を検討したい。

**問** LGBT(性的マイノリティー)への理解は

**川村議員** 日本のLGBT人口は8・9%、11人に1人の割合。身近な存在にもかかわらず、職場や学校でさまざまな課題に直面している。多様性を尊重し、人権を守る社会を推進する必要がある。

①LGBTについての認識は。

②本市の取り組みは。

③パートナーシップ制度の導入は。

④学校教育での取り組みは。





## 多様性の 尊重が大切

**山下市長** ①性的マイノリティへの差別や偏見解消のため、男女の枠を越えた身体や心についての理解を深める必要がある。平成28年3月に策定した、第3次笛吹市男女共同参画プランにおいて、基本目標3「男女が健康で安心して暮らせるまちづくり」の重点目標の中で位置づけている。

②広報紙等による啓発を検討している。今後は、男女共同参画推進委員会と協働し、専門機関等から情報を収集しながら、市民や職員に向けた学習の場を設けたと考えている。

③本年7月に都道府県としては、初めて茨城県が導入した。渋谷区など23の市区が導入しているが、山梨県内では導入例はない。今後研究を進める。

④教育活動全体を通して、一人ひとりの心と体が違うことや多様な考え方、感じ方があることを理解させ、お互いを尊重した人間関係

の構築に努めている。LGBTの児童生徒への支援には、個別の事案に応じ

て、心情等に配慮した、きめ細かな対応に心がけている。



川村 忠子

## 笛政クラブ

古屋 始芳 議員

## 問 降雹被害、せん孔細菌病被害への支援は

**古屋始芳議員** ①被害農家への支援の基本方針は。

②具体的な支援策は。

③地域における一斉防除の実施は。

## 問 散布薬剤費の3分の2相当額を補助

**山下市長** ①病害の蔓延防止と樹勢回復による被害の軽減を図り、農作物の生産安定を支援するとともに、特に、せん孔細菌病被害対策は、年間を通しての効果的な一斉防除を地域ぐるみで行い、日本一の桃の産地を守るため、最大限の対策を行うことを基本方針とし

ている。

②降雹被害には、対象地域で事後防除を行った農家に補助金を交付する。6月および9月補正合わせて4、946万円を計上。せん孔細菌病防除への支援は、指定された薬剤を散布した農家に補助金を交付する。9月補正に1億8千288万円を計上。補助率は3分の2。

③一斉防除、徹底防除を周知するため、チラシを9月初旬に全戸配布するとともに、市内の全行政区長に地区放送施設の使用を依頼した。JA指導員および各地

区のモモ部役員を中心に防除体制の構築を行い、未防除圃場の確認作業ができるよう対応していく。遊休農地は隣接耕作者等と相談し、できる限りの対策を講じる。

## 問 都市計画マスタープランの見直しは

**古屋議員** ①マスタープラン見直しの基本方針は。

②用途地域や都市計画道路の見直しは。

③住民参加は。

## 答 社会情勢の変化に対応

**山下市長** ①マスタープラン策定時以降の人口減少や新たなインフラ整備など社会・経済情勢の変化に対応し、第二次総合計画や県の都市計画など上位計画と整合性を取りながら見直しを図っていく。

②都市計画道路の都市計画決定は昭和37年3月、用途地域は昭和55年3月。今回の見直しで、将来の必要性と今後の方向性を示す。

③計画策定機関のマスタープラン専門委員会には、公

募した市民が参画している。計画の素案段階から、ホームページやまちづくり整備課窓口で閲覧可能にし、意見書をいただき市民の声を反映させる。最終案ではパブリックコメントも実施する予定。

## 問 石橋工業団地の拡張は

**古屋議員** ①エリア拡張手続きの進捗状況は。

②手続き完了後の団地内インフラ整備の考え方は。

③企業誘致の取り組みと入居の見込みは。

## 答 10月末に県と実施整備計画の協議

**山下市長** ①現在「農村地域への産業の導入に関する実施計画」と「農業振興地域整備計画」の見直し手続きを進めている。現在、農振整備計画の公告・縦覧を行っており、10月末には県と実施計画・整備計画の協議を行い、同意を得る見込み。

②大型車両の通行を可能にし、下水道への接続、上水

道の企業必要量の確認などを進める。

③県およびやまなし産業支援機構、金融機関等からの情報協力を得て、優良企業の誘致に努める。現在数社の入居の問い合わせがあり、順次協議している。

**問** 公共施設等総合管理計画の進捗は

**古屋議員** 本市の公共施設は老朽化、類似施設の存在、地方交付税の減額など、統廃合は避けられない。公共施設等総合管理計画策定から2年半が経過した。進捗状況は。

**答** 令和2年度末までに個別計画等を策定

**山下市長** 計画では、平成26年度末、市が保有する公共施設の建築物延床面積に対し、令和35年度までに30%を削減、大規模改修を実施する施設を40%まで厳選、さらに20%の施設の長寿命化を図り、将来更新費を削減する。目標達成のため、市全域を想定した個別施設計画、長寿命化計画等を令

和2年度末までに策定する。既存施設を統廃合や複合化する場合は説明会を開催し、市民の意見を伺いながら進めていく。市の将来を見据え、市民の利便性の向上を図り、新たなニーズに応える施設の整備も検討する。

**問** 会計年度任用職員制度は

**古屋議員** ①一般職非常勤職員に移行する特別職非常勤職員は。

- ②国の財政措置は。
- ③経費の増加見込みは。
- ④教育委員会の市担講師、学校サポーターの位置づけは。

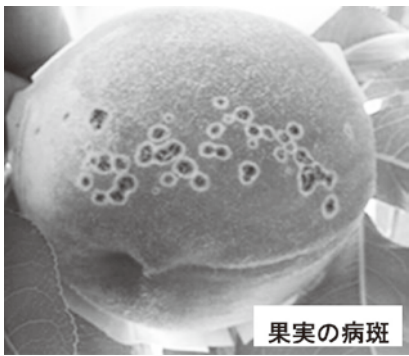
**答** 25職種が対象

**山下市長** ①特別職非常勤職員は、専門的な知識経験を有する者が条件。助言、調査、診断等を行う職に限定される。これ以外は会計年度任用職員に移行となる。家庭相談員、就労支援員、専門交通指導員、登記専門員、学校安全サポーターなど25職種。

②何らかの財政措置が講じられるものとし、今後の国の動向を注視する。

③フルタイム会計年度任用職員は、退職手当の積み立てが必要となる。条件によってはパートタイム会計年度任用職員にも期末手当を支給する。概算で最大約2億8千万円の増額になると試算している。

④来年度から臨時的任用職員の要件は「常時勤務を要する職に欠員を生じた場合」、「災害等の緊急の場合」、「1年以内に廃止されること」が予想される臨時の職の場合に限定される。市担講師や学校サポーターは、要件に該当しないため、会計年度任用職員に移行する。



果実の病斑

日本共産党

渡辺 正秀 議員



**問** 公営企業会計の消費税過払い金返還は

**渡辺正秀議員** 7月10日、水道事業会計の消費税更正請求分1億3、030万円が返還された。私は、昨年5月、過払いに気がつき指摘したが、当初、市は「税務署の指導も受けてやっている」との対応だった。そこで消費税法や全国の動きも調査し市に報告、市も専門家に相談し、今回の結果を得るようになった。喜ばしい一方で、私の試算では、時効消滅分の8千万円から9千万円は返ってこない。事務レベルの向上が求められている。市の所見を問う。

適切に消費税申告を行ってきた。昨年、渡辺議員から納税者側により有利な解釈もあるとの問題提起を受け、公営企業会計の専門家へ依頼し、検証したところ、水道事業において、5年間分還付の決定が税務署からあった。今後も職員の事務レベル向上に努め、適切な会計処理に努めたい。

**問** 保育所民営化に伴う運営費の試算に疑問

**渡辺議員** 理解しがたい財政効果の試算で、民営化が機械的に推進されることは認められない。

御坂北保育所の民営化に伴う運営費試算でも、民営化による市負担の実質削減見込み額を1、073万円

**答** 適切な会計処理に努める

**山下市長** 市はこれまで、山梨税務署の指導を受け、





としていますが、間違いだ。市の示す基礎数値に基づけば、民営化により国・県負担金が3、189万円増え、地方交付税が4、233万円減る。財政効果どころか、1、044万円の損失になる。市は再点検するべきだ。

**答** 再点検を行う必要はないと考えている

**山下市長** 普通交付税は、基準財政需要額から、基準財政収入額を控除した金額が、市町村に交付される。渡辺議員の地方交付税4、233万円とする試算は見解の相違であり、市が再点検を行う必要はないと考える。公設でも民設でも保育所運営費の公的負担総額は同額となる。

**問** 平成30年度決算は

**渡辺議員** 市債残高は1億8、007万円減った。基金残高は7億8、733万円も増え172億7、211万円になった。その結果、将来にわたる財政負担は9億6、939万円減

少して255億1、343万円になった。そればかりか、市債残高のうち、交付税措置の大きい臨時財政対策費や合併特例債の比率が高まり、特定財源見込み額が増えたことで、将来負担比率は前年度67・2%から19・8ポイント下がり47・4%になった。極めて堅調であるいは「余裕」の決算と言える。最大の要因は上下水道料金の値上げにより、上下水道会計への補助が大きく減少したことだと理解してよいのか。

**答** 再点検を行う必要はないと考えている

**山下市長** ①上下水道事業会計への補助金の合計額は13億6、306万8千円となり、前年度よりも6億2、670万4千円減少した。これが良好な決算状況の要因の一つではあるが、主な要因は、合併特例債などの有利な特定財源を効果的に活用したこと、当初予算編成時に厳格な査定を行い、適正な予算執行に努めた成果であると考えている。

**問** 「余裕の財政」を市民に振り向けろべき

**前島議員** 笛吹市はこの間、財政が厳しいと言って、上下水道料金や国保税の引き上げを行ってきた。しかし、本当に大変なのは市民の暮らしだ。市民生活に深くかわる事業の多くは、特別会計や公営企業会計として、一般会計と区別して扱われるようになっていく。市は、これらの会計は独立採算が当然という考えで、料金や税率の引き上げを行ってきた。この考えは市民の暮らし、福祉の向上を第一の任務に掲げる自治体の理念に反する。ハートフルタウン笛吹を掲げる市は、「余裕の財政」を市民の福祉・暮らしに振り向けるべきではないか。市長の所見を伺う。

**答** 適切な予算配分を行っていく

**山下市長** 平成30年度の決算は良好であったと言えるものの、市の財政に余裕があるとは考えていない。財

政構造の弾力性を示す経常収支比率は89・3%と、前年度より0・4ポイント増加しており、今後さらに普通交付税が減少するため、財政の硬直化が懸念される。しかし、適正な行政水準を維持しながら、最大限の住民サービスを行うことは、市の責務であり、必要不可

欠な事業においては、適切な予算配分を行っていく。国民健康保険特別会計および公営企業会計は、法律や制度に基づき、適正な運用をするべきであり、国が定める基準外の繰出金や補助金は、一般会計から支出するべきでないものと考えている。

## シンガポールトップセールス

8月7日から8月10日にかけて、議会を代表し中村議長・前島建設経済常任委員長が、市長、産業観光部、JAふえふき他関係職員とともに、笛吹市特産のもも・ぶどうを販路拡大を図るため、ショッピングモールでの試食販売等を実施した。日本一の生産量を誇る当市の桃・ぶどうは、どの会場においても高い評価を受けた。



9月  
定例議会

市民の声

# 質疑及び一般質問

本会議では、6人の議員が質疑及び一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



## 一般質問



渡辺清美議員  
(公明党)

**問** 買い物リハビリで介護予防を

**答** 介護予防事例として情報を提供

**渡辺清美議員** 長久手市で実施している、要介護状態を防ぐため、商業施設と協力し介護予防教室を実施する買い物リハビリが、参加者の生活機能維持・向上につながる。申し込めば自宅からスーパードまで送迎してくれるが、市の考えは。

**飯島保健福祉部長** 長久手市が実施している買い物リハビリは、介護予防の一つの方法として興味があるが、これは平成30年度にスタートし、検証も済んでいないことから、今後の取り組みに注目していきたい。



なお、市内には、地域で介護予防に取り組んでいる自主活動グループがあるため、介護予防の事例として情報提供を行いたい。

**問** 日勤救急隊は

**渡辺議員** 救急出動件数の半分は日中の時間帯。働き方改革の一環として、平日の日勤に特化した救急隊を創設し、育児中の職員が活動し続けるための受け皿を作ってはどうか。

**答** 継続的に業務改善に取り組む

**福岡消防長** 市内の救急活動は、非常用を含めて5台の救急車に対応しており、出張所庁舎を適正配置することで、本署救急隊を1隊増やし、2隊運用することで、本署管轄の救急需要に応えることができています。日勤救急隊等の増隊は難しい課題ですが、業務負荷の軽減や職員の働きやすさなど、適正な労務管理の観点から救急業務を捉え、より良い救急サービスを提供が行えるよう、継続的に業務改善に取り組みたいです。





川村 忠  
武川則幸議員  
(笛新会)

### 問 ボックスカルバート内の照明は

### 答 LED化は早期更新を検討

**武川則幸議員** 中央自動車道のボックスカルバート(トンネル)内の照明設備について問う。

- ① 保守・管理の取り決めの詳細、電気料金は市負担にすべき。
- ② 市内トンネル数、照明器具数別・個所数は。通学路指定トンネル数は。
- ③ 修理・改修件数と金額、現在の不良所と修復予定は。
- ④ LED照明器具への更新は。

### 雨宮市民環境部長

① 旧町村で交わした協定書では「引渡しを受けた照明設備を町が管理する道路等の付属物として維持管理するものとする」とし、この協定に基づかない照明設備については、市設置設備は市が、地区要望の照明設備は電気料金を地



通学路にあるボックスカルバート及び防犯灯

区負担として管理。

- ② ③ 市内のトンネルは63カ所、学校の指定通学路にあるトンネル数は、計7カ所で、中学校は指定通学路なし。昨年度の照明設備修理は4件10灯で14万8千円、今年度は現在5カ所8灯の修繕を完了している。
- ④ 通学路のLED化は早期更新を検討。

### 問 御坂農村環境改善センターは

### 改善センターは

**武川議員** 老朽化で空調設備や水回り、耐震工事も必要だ。御坂児童センター・保健センター等の複合施設として建て替えを望む。対応は。

### 答 個別施設計画で検討する

### 深澤総合政策部長

公共施設等総合管理計画では、長期的な視点を持って公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、更新費削減に向けた基本方針と数値目標を示した。計画実現のため、既存施設の統廃合や複合化については、個別施設計画で検討を進める。



川村 忠子  
河野智子議員  
(日本共産党)

### 問 国民健康保険税引き下げを

### 答 軽減措置等で公平性は確保

**河野智子議員** ① 8月末の滞納世帯数は。

- ② 国保税の公平性とは。
- ③ 応能負担と応益負担がある理由は。
- ④ 笛吹市も税率を引き下げべきだ。

### 雨宮市民環境部長

① 1、441世帯、ここ数年同水準で推移。

- ② 負担能力に応じた「応能割」と受益に応じた「応益割」により負担をいただく中で、所得が低い方には軽減措置を講じ、公平性を確保。
- ③ 加入者が支えあう医療保険の性格を考慮し、県が提示する標準税率に即して、可能な限り応能割と応益割を50対50に近づけるよう今回の税率を定めた。
- ④ 税率改定の対応時期に差は生じることが、避けられないと考える。

### 問 子育て支援の充実

### 河野議員

① 18歳までの医療費無料化を求める。医療費無料化で増える予算はいくらになるか。

② 幼児教育・保育無償化について、主食・副食はどうなるか。また、周知方法は。無償化で保育需要が増え

た場合、対応できるか。

### 答 医療費無償化は

### 動向を注視

**飯島保健福祉部長** ① 医療費無料化の年齢拡大は、県内の動向を注視し検討する。無料化の試算は6、800万円程度。

② 幼稚園では利用料と別に、主食費・副食費を実費徴収。幼稚園では保護者に制度概要と無償化手続きの周知を行っている。保育所等では、無償化の対象となる保護者にお知らせを送付する。また、無償化による保育需要増加の対応に努める。





神澤敏美議員  
(笛新会)

問 マイマイ蛾の駆除・除去は

答 卵の駆除が安全で効率的な対策

**神澤敏美議員** 今夏、公共施設、商業施設、県道・国道の街路灯に蛾（マイマイガ）が大量発生した。市は各施設や団体に指導し、市民・利用者も共有して駆除、除去を促し、来季の発生を防ぐ努力をすべきだ。

①公共施設管理責任者への周知は。

②スポーツ施設指定管理者への周知は。

③指定管理者から利用団体への周知指導は。

④各地域商業地への対策は。

**両宮市民環境部長** ①②この夏、近隣市や笛吹市内で、大量発生が確認されている。マイマイ蛾の幼虫は、

森林や果樹など樹木の葉を食べる害虫で、幼虫の毛に触るとかぶれたりする。蛾の発生を抑える方法や、一斉に駆除する有効な手段がないため、卵を除去することが最も安全で効率的な対策。

8月5日に蛾の大量発生と卵の駆除・除去に関する記事を、市のホームページに掲載した。また、チラシの配布や市役所の庁内グループウェアを通して、各施設管理者にも卵の

除去について依頼し、公共施設の壁などに卵の塊がある場合は、各施設で除去するよう周知した。

③各施設管理者から、チラシを配布するなど、利用団体へ卵の除去の協力を求めていく。

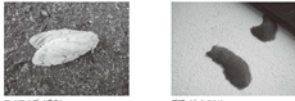
④チラシの配布とホームページを使った情報の発信を引き続き行っていく。また、商工会等を通して周知を行い、各事業所に卵の除去等の対策をお願いする。

④地域商業地への対策は、近隣市や笛吹市内で、大量発生が確認されている。マイマイ蛾の幼虫は、森林や果樹など樹木の葉を食べる害虫で、幼虫の毛に触るとかぶれたりする。蛾の発生を抑える方法や、一斉に駆除する有効な手段がないため、卵を除去することが最も安全で効率的な対策。

マイマイガの駆除・除去にご協力ください

種「マイマイガ」の大量発生について

今夏、近隣市および笛吹市内で、種「マイマイガ」の大量発生が確認されており、マイマイガの幼虫は森林や果樹などの樹木の葉を食う害虫です。7-8月が産卵期で、産卵した卵は中庭にたくさん散らばり、そのまま残っています。発生時期は早晩です。約10年周期で発生し、2-3年連続する傾向があるとされています。発生を止めたい場合、一斉に駆除する有効な手段がないため、卵を除去することが最も安全で効率的な対策です。近年は卵の大量発生を抑制するための、各施設や事業管理者が卵を除去する場合は、早期駆除のご協力をお願いします。



マイマイガの生態

- 卵 卵は、卵管から産出される卵の状態で、お尻の穴から産出され卵管から出てくることがあります。
- 生態 マイマイガは、1年で1回産卵する一世代の昆虫です。卵は、卵管から産出され、卵管から出てくることがあります。卵は、卵管から産出され、卵管から出てくることがあります。卵は、卵管から産出され、卵管から出てくることがあります。
- 産卵の時期 産卵の時期は、7-8月です。産卵の時期は、7-8月です。産卵の時期は、7-8月です。産卵の時期は、7-8月です。産卵の時期は、7-8月です。
- 産卵の場所 産卵の場所は、中庭や庭先などです。産卵の場所は、中庭や庭先などです。産卵の場所は、中庭や庭先などです。産卵の場所は、中庭や庭先などです。



北嶋恒男議員  
(笛新会)

問 ハザードマップ対応の避難は

答 安全確保を最優先し情報共有

**北嶋恒男議員** ハザードマップは千年に一度と言われる最大規模の雨量を想定して作成されたと言われる。①土砂災害警戒区域内に公共施設があるが、周辺地域への周知内容、避難対応は。

②区域ごとの責任者との緊急連絡網は、どうなっているのか。

**須田総務部長** ①教育委員会や施設責任者と情報を共有し、利用者の安全確保を最優先に適切な対応を行う。

避難が必要な場合、防災行政無線・メール、消防団の広報活動、Lアラートを活用し、TV・ラジオを通して周知する。

②支所や消防分団から情報を収集し、関係機関からの気象情報や河川情報を照らし合わせ、逃げ遅れがないよう適切に判断をする。必要に応じ避難情報の伝達や情報共有に努めたい。

問 若者に行政・議会への関心を

**北嶋議員** 若者の政治への関心を高めるため、市のまちづくりや税金の使われ方について、知ってもらおうと

答 高校に出席前講座

という趣旨のもと、高校生と市役所の意見交換等を実施し、生徒の質問に對し、市長や担当部長が答える機会を設けることを提案する。

**須田総務部長** 選挙管理委員会の出前講座の実施や、主権者意識の向上に努め、限定的な投票所開設など、

ハード面の研究も必要。質問の取組についても、今後の取組の中で研究していきたい。





野澤今朝幸議員  
(無会派)

問 ハートフルタウン笛吹の実現は

答 施策に方向性を反映させる

野澤今朝幸議員 山下市長は3年前、ハートフルタウン笛吹を公約に市長選に立候補したが、どこまで実現し、残り1年でどのような施策を展開するのか伺う。

- ① ハートフルタウン笛吹の意味は。
- ② 市長は公約をどう認識しているか。
- ③ 本柱である「幸せ実現」「新たな農業」「観光再生」はどのような施策で実現されたか。
- ④ 任期最後の予算編成の時期だが、新たな施策を考えているか。

深澤総合政策部長

① 笛吹市に住む誰もが幸せを実感し、心にゆとりを持ち、優しさあふれるまちというビジョンのもと、新時代を創造していくという想いが込められている。

② 公約は「選挙の際に、政党や立候補者が当選後に実施することを約束した政策」と認識している。

公約では「幸せ実感 心豊かに暮らせる街」として、「子育て支援や学びの環境・地域づくりを」「新たな農業 実り豊かなブランド農業」として、販売力の向上や生産力の確保を「観光再生 また訪れたくなる街」



として、田舎リゾート構想や温泉郷スポーツツーリズムを、3つの政策の柱としている。これらにかかる考え方は、第2次総合計画の基本構想における3つの基本目標と12の施策や、施策ごとの取り組みの方向性に反映されている。今後も、市の将来像の実現に向けた取り組みを進めることにより、公約の実現にもつながるものと考えている。

④ 新たに取り組む必要性がある場合、重点事業協議の場で決定する。

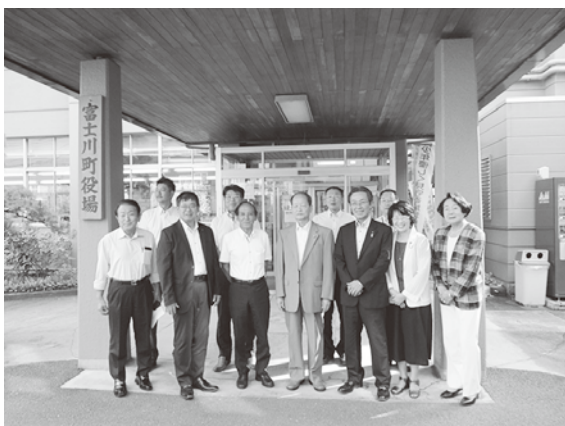
一般質問



議会タブレット検討委員会  
視察研修  
富士川町議会

議会では議会改革のなかで、経費削減、職員の労務費の削減、情報の速達性、情報の共有化を目的としてICTを活用したタブレット端末の導入について検討をはじめました。

今後も導入効果とメリットや導入形態、副次効果等様々な角度から検討をしてきたいと考えています。



# 総務常任委員会

委員長	岩沢 正敏	副委員長	武川 則幸
委員	海野利比古	小林 始	
	古屋 始芳	渡辺 清美	

9月24日、25日、30日、10月1日、2日の5日間、委員会を開催。付託された令和元年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計歳入歳出決算認定、条例の制定1件、条例の一部改正2件、動産の取得3件の計8件を審査し、賛成全員で原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

## 〈総務部所管〉

**Q** 臨時職員が会計年度任用職員に切り替わった場合、任用期間はどうか。  
**A** 基本は当該会計年度の期間内だが、翌年度、再度任用することも可能。更新は人事評価制度の評価等も、判断材料に取り入れていく。

## 【説明】

事務職は週31時間以内のパートタイムでの任用を基本に、今後、各部署と調整を行っていく。現在臨時的任用を行っている保育士や市単独の講師は、業務量や職種等を考慮し、フルタイムでの任用も考えている。

**Q** 八代スマートIC建設に伴う法定外道水路等のNEXCO中日本への払い下げについて、どの範囲を払い下げたのか。  
**A** スマートIC建設に伴い廃止された市道部分と、建設地内にあった法定外公用財産の道水路である。

## 【説明】

この時期の払い下げとなった理由は、建設当時の申し合わせにより、全ての事業終了後に市とNEXCO

中日本で売買手続を行うこととなっていたため。

**Q** 公用車の入れ替えは、買い取りよりリース契約が経済的に安価ではないか。  
**A** 過去に検討を行ったが、買い取りでの入れ替えを主にしている。今後も経費の比較検討を行い、管理計画の見直しに反映させたい。

## 〈総合政策部所管〉

**Q** 個人番号カード利用環境整備事業の内容は。  
**A** 消費税率引き上げの影響による消費減退を緩和するため、マイナンバーカードを活用した消費活性化策の準備として実施する事業である。



## 【説明】

全国共通で利用できるマイナンバーカードを利用するには、マイナンバーカードに専用のIDを設定する必要があるが、パソコン等になじみのある高齢者等への設定作業の支援を行う。

**Q** 移住支援金交付事業の内容説明を求めます。  
**A** 県が開設したマッチングサイトを通し、東京圏からUターン、Iターン、Jターンで県内企業に就労した対象者が、市内に移住し就労後の条件を満たした場合、個人または世帯に対して補助金を交付する。

## 【説明】

移住定住促進事業では、事業内容や広報活動における創意工夫を求める意見があり、策定中の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、子育て世代を対象にした施策を組み立て、情報発信を行う。

**Q** 各種基金の積み立ては、特定の目的を持って積み立てを行っているのか。  
**A** 条例に定める基金の目的のため積み立てを行っている。

おり、現時点で特定の目的があつて基金の積み立てを行っているものではない。

## 〈市民環境部所管〉

**Q** 各行政区へのLED化更新補助金の交付実績は。  
**A** 補助の開始から平成30年度末で4、714基分を交付、令和元年度におよそ1、200基分が申請されている。

## 〈消防本部所管〉

**Q** 笛吹市内におけるドクターヘリの離着陸場は。  
**A** 平成30年度に2カ所増え、全40カ所になった。

**Q** はしご車の法定点検は。  
**A** はしご部分に関しては毎年の油圧点検に加え、購入から7年経過で1回目、以降5年毎のオーバーホールが必要となる。

## 【継続審査】

「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択の請願」は、継続審査となった。



# 教育厚生常任委員会

委員長	神澤 敏美	副委員長	河野 智子
委員	北嶋 恒男	保坂 利定	
	中村 正彦	川村 恵子	

9月19日、24日、25日、30日、10月1日の5日間、委員会を開催。付託された令和元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算5件、平成30年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計歳入歳出決算認定5件、条例の一部改正3件、財産の無償譲渡1件の計16件を審査し、賛成全員10件、賛成多数6件で原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

## 笛吹市文化財



### 〈保健福祉部所管〉

**Q** 保育総務事業の臨時職員賃金1人分の増額と、幼児教育・保育無償化に伴う事務負担の内容は。

**A** 施設等利用費給付事業は、幼稚園・認定子ども園について「保育の必要性」について市が認定をする事務、また該当になった場合の各園に支払いを行う事務が発生する。

### 〈生活困窮者自立支援事業〉

**Q** 生活困窮者自立支援事業の委託先の説明を求め、自立相談支援事業および一時生活支援事業は「NPO法人フードバンク山梨」であり、子どもの学習支援事業は「学びの広場ふえふき」という教職員のOBがつくっているNPO法人である。

### 〈市民環境部所管〉

**Q** 国民健康保険特別会計について、財政調整基金への積み立ても理解できるが、保険税の値下げはどのような考えでいるか。

**A** 医療費は増加傾向にあり、将来に対する備え、例えばインフルエンザの流行などの急な医療費の増加にも対応できる、安定的な財源の確保に備えたい。

**Q** 環境総務事業、負担金補助および交付金で、執行率の低い理由は何か。

**A** 不燃物置き場等設置費補助金は、30年度は申請がなく、予算の執行がなかったため執行率が低下した。

### 〈教育委員会所管〉

**Q** 八代総合会館トイレ改修工事延期に伴う減額について、現状のトイレの使用はどうか。

**A** 工事延期は設計段階で、トイレ改修工事を行う事によりトイレ内部のタイル壁に剥落の危険が生じる可能性があるため、トイレを一体的に改修する必要が発生した。通常使用は剥落の危険はなく使用できる。

### 〈無形民俗文化財保存活動補助金の詳しい説明を。〉

**Q** 無形民俗文化財保存活動補助金の詳しい説明を。

**A** 平成30年度は新規の指定申請はない。また、現在指定されている無形民俗文化財は、山梨岡神社の太々神楽、八代町岡地区の岡の式三番、二之宮美和神社の太々神楽が県指定で、永井天神社の神楽、寺尾太々神楽、砂原太々神楽、東原和歌囃子、米倉人形三番叟が市指定の無形民俗文化財である。



# 建設経済常任委員会

委員長	前島 敏彦	副委員長	神宮司正人
委員	荻野 謙一	河阪 昌則	
	中川 秀哉	渡辺 正秀	
	野澤今朝幸		

9月24日、25日、30日、10月1日、2日、8日の6日間、委員会を開催。付託された令和元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算2件、保護財産区管理会補正予算9件、公営企業会計補正予算2件、平成30年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計歳入歳出決算認定2件、保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定9件、公営企業会計決算認定3件、条例の一部改正2件、市道の廃止1件の計32件を審査し、賛成全員27件、賛成多数5件で可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。



## 〈産業観光部所管〉

**Q** 降電被害の補助率は。  
**A** 県の補助金要綱に基づき、降電被害にあつたエリアの果樹・野菜に対する事後防除の薬剤分を県が3分の1、市が3分の1を定額補助するため、3分の2相当額の補助率。農家の負担は3分の1相当額。

**Q** 農業塾の実績は。

**A** 平成30年度から始まった事業で、援農支援センター・営農支援センター・再生活協議会を一体化した総称が農業塾。PRしたことで前年度に比べ相談等が増えたが、まだ事業内容のPRが不足している。一つひとつの事業が確立できてメニュー化できるように体制を整えたい。

## 〈公営企業部所管〉

**Q** 水質検査業務委託料は、何箇所まで定期的に何回行っているのか。  
**A** 水道法に基づき毎月する検査と、3カ月に1回する検査があり、水質基準項目検査を43カ所、原水検査を54カ所、クリプトスポリジウム検査を17カ所実施。今後も安心・安全に水道を供給できるように努める。

## 〈建設部所管〉

**Q** ブロック塀安全確保支援補助金の対象は。

**A** 幅員が1・8mの通走路を含んだ避難路と定義している道路に面しているブロック塀と、避難所に面しているブロック塀で、道路面より高さが1m以上で、国の基準に不適合となっているブロック塀が対象。

**Q** 石和温泉駅周辺施設維持管理事業の駅昇降設備保守点検業務委託料の内訳は。

**A** 駅構内はJR東日本の管理。市が管理している駅構外のエレベーター2カ所とエスカレーター1カ所を一括して、設置したメーカ



市道廃止の現地確認



市道廃止の現地確認



**Q** 1に委託している。  
**Q** 昨年度にエレベーターやエスカレーターでの事故はなかったか。  
**A** 事故はなかった。



# 人事

同意

## 任期満了に伴う固定資産 評価審査委員会委員の選任

氏名 古屋 典男  
住所 一宮町上矢作

氏名 村松日出男  
住所 御坂町竹居

氏名 芦澤 栄  
住所 春日居町別田

任期 令和元年11月30日～3年間



## 山梨県市議会議長会前期研修

8月7日(水)、「令和元年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)」がアピオ甲府(昭和町)にて開催されました。県内市議会議員及び事務局職員が参加し、長野県飯綱町議会前議長 寺島渉氏を講師に迎え「議会チェック機能を果たしているか～住民の代表者としての誇り～」と題して講演を受けました。



### お詫びと訂正

議会だより59号の市民リレートークに寄稿いただきました須田良英様の文章中、2行目から3行目にかけての「少ないと思います。」は「少なくないと思います。」の編集側の掲載誤りでありました。訂正してお詫びいたします。寄稿していただいた須田様に対しましても、お詫びいたします。申し訳ありませんでした。



# 2019 12月

## 令和元年第4回定例会の日程（予定）

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2 午後1時30分～ 本会議（初日） 市長行政報告 提出議案説明	3	4 	5	6 	7
8 	9 	10 午前10時～ 本会議（質疑 および一般質 問・付託）	11 午前10時～ 本会議（質疑 および一般質 問・付託） （予備日）	12 	13 午前9時～ 常任委員会 （総務 教育厚生 建設経済）	14 
15 	16 午前9時～ 常任委員会 （総務 教育厚生 建設経済）	17 午前9時～ 常任委員会（予備日） （総務 教育厚生 建設経済）	18 	19	20 午後2時30分～ 本会議（最終日） 委員会審査報告・ 討論・採決	21
22	23 	24	25	26	27	28
29 	30	31	<h3>その他の活動予定</h3> <p>12月23日（月） 釈迦堂遺跡博物館組合議会 全員協議会 釈迦堂遺跡博物館組合議会 本会議</p> <p>12月25日（水） 東山梨行政事務組合臨時会 全員協議会 東山梨行政事務組合臨時会 本会議</p> <p>※予定は変更になる場合があります。</p>			

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。傍聴席（定員42名）は先着順となります。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

**編集後記**

笛吹市議会では議会改革の一環として電子機器（タブレット端末）を取り入れたペーパーレス化の検討を始めました。

タブレット端末導入のメリットとして①議会対応の業務効率化、②印刷・運搬・廃棄などコスト削減、③文書・資料管理と活用のほか④通常時（災害時）連絡手段の共有に期待できる事から本年五月に議会改革小委員会を立ち上げました。

今後は「費用対効果」議会運営の効率化「議員のスキルアップ」を図るため県内外の先進自治体の取り組みを調査研究して参ります。

議会広報編集委員会  
委員 中川 秀哉

### 表紙説明

秋晴れの下  
元気に躍動！

9月21日 石和南小学校運動会  
28日 石和北小学校運動会



笛吹市議会だより Vol.60

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917  
TEL.055-265-2112（直通）FAX.055-265-1101  
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

発行者：笛吹市議会議長 中村 正彦 / 編集：笛吹市議会広報編集委員会  
委員長：北嶋 恒男 副委員長：武川 則幸  
委員：古屋 始芳 河野 智子 中川 秀哉 河阪 昌則

笛吹市議会だより Vol.60 24